

平成30年度事業計画書

昨年度策定した「第4次グランドデザイン」に基づいて連携と協奏を目指す5カ年文化戦略として事業活動を再編成し、次の事業に取り組む。

特に平成30年度は新しい年号も決まり、明治150年、東京オリンピックまであと2年という節目の年にあたり、当協会も万博記念基金、上方文化芸能振興事業の承継、アーツサポート関西運営などの事業も概ね5年を迎え、その成果を報告し見える化する事業に重点的に取り組む。

具体的には重点事業として6月に万博助成金贈呈式および報告会、9月に第20回記念上方花舞台、10月に舞台芸術記念公演（仮称）を実施する。

また、万博誘致活動にも積極的に参加、協力する。

I 「助成と顕彰」

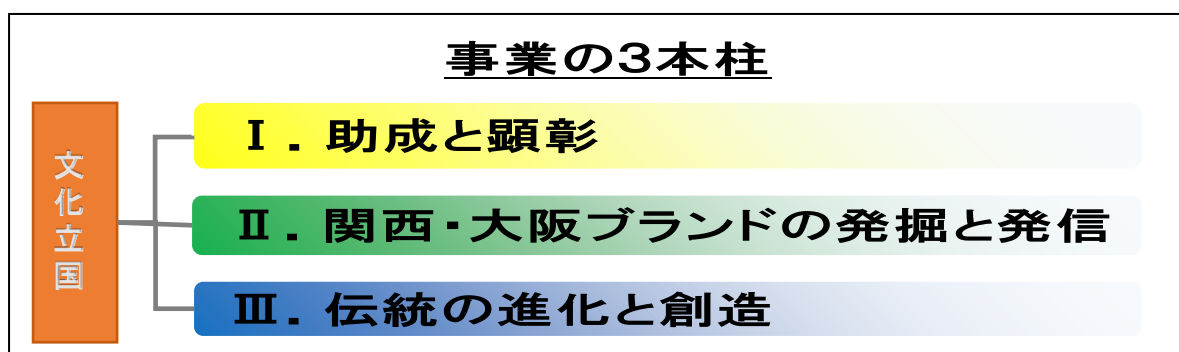
日本万国博覧会記念機構から承継した記念基金事業と、経済団体と協力して設立した民間版の文化支援組織「アーツサポート関西」の助成事業と顕彰、および「大阪文化祭賞」などの人材育成（アーティスト支援）事業を実施する。

II 「関西・大阪ブランドの発掘と発信」

「大阪ブランド・コミッティ」（平成16～19年）、「はなやか関西」の流れを汲むもので、関西・大阪のポテンシャルや歴史・文化に根ざした地域の魅力を発掘し、発信を目指す。

III 「伝統の進化と創造」

当協会が広域連携の結節点を担い、関係団体とのコラボレーションにより、新たなまちづくりを促進する。これまでの社会実験の成果を踏まえ、「水都・大阪」の推進、「大阪城フェスティバル」構想への取り組み、上方伝統文化の振興、保護・育成を行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付し、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の管理運営に対する平成 30 年度の寄附を休止し、2025 日本万国博覧会誘致委員会が実施する 2025 年開催の国際博覧会の誘致活動に対して寄附金を拠出する。

ア. 助成事業

A. 平成 30 年度 助成活動

(1) 平成 30 年度助成事業への助成金交付

平成 29 年度中に交付決定を行った助成金交付事業（予定：47 件 8,900 万円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

平成 30 年度助成金交付決定

(単位：(件), 千円)

	重点助成	一般助成	合計
国際文化交流、国際親善に寄与する活動	(1) 7,000	(31) 55,800	(32) 62,800
教育、学術に関する国際的な活動		(15) 26,200	(15) 26,200
合 計	(1) 7,000	(46) 82,000	(47) 89,000

・上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 実地調査及び事後評価等

- ・助成金交付事業の中から実地調査を行う。
- ・助成金交付事業者からの報告書及び実地調査の内容を踏まえ、事後評価を行い、次年度以降の評価に反映する。
- ・模範的な団体のノウハウ共有と、対外発信の強化を図る。

B. 平成 29 年度 助成事業の繰越及び助成金交付

平成 29 年度助成事業のうち、助成金の交付が平成 30 年度となる事業について事業の繰越を行い、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

C. 万博記念基金助成事業の「見える化」への取組み

- ・国内の助成先を一堂に集め、助成金贈呈式および報告会を開催するとともに、平成29年度の模範事例の発表会や助成先と関係者の交流会を行う。
- ・経済界やマスコミ、国（外務省）、自治体（大阪府・市）、関西の総領事、学識経験者など関係者に広く参加を呼び掛け、万博記念基金助成事業の「見える化」を促す。

…開催日程 平成30年6月11日（月）17時～19時（予定）

…開催場所 リーガロイヤルNCB 2階

D. 平成31年度 助成対象事業の募集活動

・募集対象分野

日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った次の分野を対象とする。

○ 国際相互理解の促進に資する活動

…国際文化交流、国際親善に寄与する活動

…教育・学術に関する国際的な活動

ただし、一般助成事業と次の重点助成事業に区分し募集する。

【重点助成事業】

- 1) 「日本万国博開催の意図」の趣旨により適った事業で、万博記念基金助成事業の「顔」となるシンボル事業を重点助成事業と位置付ける。
- 2) 重点助成事業には「万博助成ならでは…」、「万博助成だからこそ…」の独自性の発揮を求める。

・助成予定総額

助成予定総額 9,200 万円の範囲で助成を行う。

① 重点助成事業

1 件につき助成金 1,000 万円を上限とし数件程度を採択予定。

（相応しい事業がない場合は「該当なし」とする場合もあり）

② 一般助成事業

1 件につき助成金 300 万円を上限として、全体の助成予定総額から重点助成事業への助成額を除く範囲内で採択する。

- ・募集方法 ホームページへの掲載や関係機関への募集要項送付
- ・募集説明会 大阪・東京会場
- ・募集時期 平成30年7月～9月
- ・助成対象事業の選考 審査会の開催 平成30年12月～平成31年2月
- ・助成金の交付決定 決定時期 平成31年3月

日本万国博覧会記念基金事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。

イ. 「2025 日本万国博覧会誘致委員会」へ寄附する事業

- ・2025年に開催される国際博覧会の関西・大阪への誘致に向け、2025日本万国博覧会誘致委員会が実施する誘致活動の費用に充当するため、同委員会に対して寄附金を拠出する。

なお、同委員会への寄附は、平成29年度及び平成30年に限り拠出するものとし、平成31年度からは、再び大阪府が行う日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附金を拠出する。

- ・寄附予定額 約1億4,900万円（万博記念基金運用益の2分の1）

2. 「アートサポート関西」(ASK) 事業 (公益目的事業3)

広く民間から寄附を集め、関西、大阪の文化・芸術分野で活動する団体や個人に助成することにより、優れた伝統文化の継承、新しい芸術的価値の創出を進めて関西、大阪の活性化に寄与するとともに、関西、大阪の寄附文化の醸成を図る。

ア. 寄附集め活動

アートサポート関西の意義や寄附を必要とする助成先の声を、広くHPやチラシ等で告知し、個別企業への提案や「ASK 寄附型自販機」の普及、チャリティーイベントの企画・推進などを、ASKの「生みの親」でもある関西経済同友会と連携を取りつつ進めるとともに、企業や個人から広く寄附を集める。

- A. 近く100周年等の節目を迎える「周年企業」への提案活動の推進
- B. 「ASK 寄附型自販機」の推進
- C. 「ASK サポートーズクラブ (法人会員・個人会員)」の加入促進
- D. 「ASK チャリティーイベント」の企画・推進

イ. 助成事業

A. 平成 30 年度 公募助成事業の実施

(1) 一般公募助成

平成 29 年度に募集、審査して交付決定した一般公募助成事業への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

平成 30 年度助成金交付決定

(単位：件, 万円)

	件 数	金 額
美 術	3	130
音 楽	4	140
舞台芸術	5	160
伝統芸能	2	70
合 計	14	500

・上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

(2) 個別寄金助成

①継続

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」助成 (4年目)	50 万円	伝統芸能	上方落語の若手噺家支援事業を行う団体
「岩井コスモ証券 A S K 支援寄金」助成 (2年目)	400 万円	美術・デザイン 音楽、伝統芸能	国際的に高い水準の芸術・文化活動を行う者もしくはその潜在性を有する者で、広域関西を拠点に活動する 40 歳未満の若手芸術家個人 〔ただし、大阪を拠点に活動する者を優先的に支援する〕
「八千代電設工業 伝統芸能支援寄金」助成 (2年目)	50 万円	能楽における青少年を対象にした教育普及活動	広域関西において左記の活動を行う団体
「北倶楽部記念寄金」助成 (2年目)	45 万円	大阪市北区内で行われる芸術・文化活動	大阪市北区内で左記の活動を行う団体

②新規

助成名	助成総額	助成分野	対象者・実施期間等
「ささやか寄金」助成	5万円	アールブリュットあるいはアウトサイダーアートに分類される活動で、「アート×福祉」の複合領域で展開されるもの	【対象者】 ・広域関西において左記の活動を行う団体 【実施期間等】 ・平成30年度
「ソフィア寄金」助成	5万円	現代美術における平面作品の制作活動 他者に幸せをもたらすことを意図した作品であること	【対象者】 ・広域関西において左記の活動を行う団体 【実施期間等】 ・平成30年度

③平成30年度に新たに公募する個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	対象者	募集期間
「日本電通メディアアート支援寄金」助成	100万円	メディアアート	関西のメディアアーティスト 〔ただし、大阪を拠点に活動する者〕 〔を優先的に支援する〕	平成30年 3月下旬 ～5月
「丸一鋼管文楽支援寄金」助成	250万円	文楽 〔若者の文楽鑑賞機会を創出する活動〕	若者に文楽の本格的な鑑賞機会を創出する事業「そうだ文楽へ行こう！ワンコインで文楽」の実施団体、または類似の事業を行う団体 〔国立文楽劇場において平成26年度からASKが支援し行ってきた「そうだ文楽へ行こう！！ワンコインで文楽」の事業を、丸一鋼管株式会社からの寄附金（500万円）により承継または類似の事業を行う団体を公募・選定〕	平成30年 3月下旬 ～4月中旬
「上町台地現代アート創造寄金」助成	50万円	上町台地の寺社とアートを融合させる活動	関西を拠点に上記の活動を行う団体・個人	平成30年 7月～8月予定

B. 平成 31 年度公募助成事業の募集

① 一般公募助成

助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
300～500 万円 (寄附の集まり具合 に応じて決定)	美術・デザイン、 音楽、舞台芸術、 伝統芸能	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 1 月	協会ウェブサイトへの掲 載、関係先へのメール等 による案内、募集説明会 の開催など

② 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
「岩井コスモ 証券 ASK 支援 寄金」助成	400 万円	美術・デザイン、 音楽、伝統芸能	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 1 月	協会ウェブサイト への掲載、関係先 へのメール等によ る案内、募集説明 会の開催など
「八千代電設 工業伝統芸能 支援寄金」助成	50 万円	関西で行われる 能楽における青 少年を対象にし た教育普及活動		
「北倶楽部記念 寄金」助成	45 万円	大阪市北区内で 行われる芸術・ 文化活動		
「日本電通メデ ィアアート支援 寄金」助成	100 万円	関西におけるメデ ィアアート制作	平成 31 年 3 月～5 月	

D. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会に於いて選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 平成 31 年 1 月～2 月
- ・運営委員会 平成 31 年 2 月（理事会：3 月）
- ・助成金交付決定 平成 31 年 3 月

ウ. 寄附集めのための寄附文化醸成活動

他団体との連携による「チャリティイベント」等を通し、企業経営者や一般市民に対して、寄附文化の醸成を図る。

エ. 広報活動

- (1) 個別寄金の寄附者との共同記者会見の企画・運営
- (2) 募集開始、公募助成先決定等のマスコミ発信
- (3) 当協会や関西財界のイベントに、助成先（アーティスト）の出演機会を設ける等、経済界と助成先の橋渡しをする。
- (4) 助成事例の紹介や新しい寄附集め方策の提案発表など、絶えず効果的に対外発信を続けることで、躍動する ASK のイメージ形成と関西の寄附文化醸成に努める。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会
(大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

贈 呈 式 平成31年2月～3月

イ. アートストリーム2018（公益目的事業1）

公募選考により、さまざまなジャンルの新進気鋭のアーティストやクリエイターを幅広く発掘し、発表の場を設けるとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。

主 催 アートストリーム実行委員会
(大阪芸術大学、大阪府、大阪市、
(公財)関西・大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成30年9月28日～30日

場 所 大丸心斎橋店 北館14階

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. シンポジウム・フォーラムの開催

ア. 関西・大阪文化力会議（公益目的事業1）

ユネスコ無形文化財に登録され、いまや世界的な広がりを見せている「和食」。しかし、海外の日本食レストランで提供される料理が和食というには程遠いものであったり、国内においても若者を中心とした米離れや伝統的な和食文化の変容が起こるなどなど、和食の危機を提唱する識者もいる。

そこで和食を系統的に整理し、和食文化の継承や普及の方向性を見定め、人類の健康に貢献する和食を世界に発信するため「インターナショナル和食フォーラム（IWF）」を開催する。

実施時期 平成31年2月下旬（予定）

場 所 大阪国際会議場（予定）

2. 関西ブランドの発掘と調査・研究

ア. 「なにわ大坂 100 人選」プロジェクト（公益目的事業 1）

古代から近世までの「なにわ大坂」で活躍した 100 人を選定し、時代背景や現代に受け継がれた関連情報を収集し、蓄積を図る。その成果は順次ホームページで発表するとともに、3 部構成で出版する。

実施時期 平成 25 年度～30 年度

3. 関西ブランドの発信

ア. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業 1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信するブランド情報誌（機関誌）を発行する。公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布（約 1 万部）

発行回数 年 3 回

イ. 関西国際空港での映像発信（公益目的事業 1）

関西の四季折々の魅力（景観やお祭り、季節の風物詩など）や、バラエティに富む関西の食の魅力を収めた、四季の関西ブランド映像集『Welcome to KANSAI ～四季の関西・大阪の魅力～』を 3～4 作品制作する。

関西国際空港の税関エリア及び入管エリアで上映し、海外から関西を訪れた観光客に関西の魅力を訴求する。あわせて関西エアポート(株)の方針にも沿い大阪空港での上映実現に協力する。

ウ. ホームページ、SNS による発信（公益目的事業 1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動の最新ニュースや動画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

また、「メールマガジン」を活用し、協会の事業の取り組みや協会が後援するさまざまなイベントを配信する。

エ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

4. ネットワークと理解促進

ア. 2lcafe（その他事業 1）

関西・大阪等で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提

供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。

実施回数 通年（年4回）

イ. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、メールマガジン等で広く活動を紹介する。

ウ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり～オリンピック文化プログラムの推進～

ア. 大阪城サマーフェスティバル2018（公益目的事業1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会
〔大阪府、大阪市、経済団体、関西・大阪21世紀協会等（事務局）当協会〕

実施時期 平成30年7月～9月（予定）

イ. 平成 OSAKA 天の川伝説2018（公益目的事業1）

八軒家浜界隈に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「平成 OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として定着した。

地元商店街や大阪天満宮、生國魂神社、水上安全協会など関係者とのコラボレーションをいっそう強化するとともに、当協会は連携の結節点としてまちづくり推進の役割を果たし、当イベントの更なるブラッシュアップを図る。

主 催 （一社）おしてるなにわ
共 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
実施時期 平成30年7月7日

ウ. 舞台芸術記念公演（仮称）（公益目的事業1）

平成29年から31年にかけて、当協会設立35周年、日本万博記念基金事業承継5周年、上方文化芸能事業承継5周年、アーツサポート関西事業発足5周年等の節目の年を迎える。この機会を捉えて大阪文化祭賞、アーツサポート関西、上方文化伝統芸能、アートアSEMBリーなど、各事業の一定の成果の見える化に資する事業を行う。

実施日 平成30年10月5日

主催 (公財)関西・大阪21世紀協会

共催(予定) 大阪文化フェスティバル実行委員会

（大阪府、(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、
(一社)関西経済同友会、(公財)大阪観光局、
(公財)関西・大阪21世紀協会

場 所 NHK大阪ホール

エ. インターナショナルワークショップフェスティバル「DOORS」(公益目的事業1)

市井に埋もれたアーティストや作家を発掘し、大阪の伝統芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン(500円)で参加できる体験型ワークショップを集中開催し、大阪まちおこしの一助とする。

12回目を迎える今年度は、DOORSのアーカイブサイトを立ち上げ、これまで蓄積したデータベースと開催ノウハウの活用を図る。またインバウンド向けのワークショップの開催も模索する。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会

（アートサポート共同事業体、
(公財)関西・大阪21世紀協会

実施時期 平成30年7月～8月

オ. 広域連携支援／「北前船寄港地フォーラム」の支援(公益目的事業1)

「(一社)北前船交流拡大機構」(北前船寄港地フォーラム運営組織を法人化)が地方創生への貢献を目的に実施する「北前船寄港地フォーラム」を支援する。

また、北前船各寄港地の日本遺産認定に伴い、同機構が推進する「日本遺産」啓発事業に対して関西から広域へ及ぶ連携への協力を行う。

支 援 期 間 通年

フォーラム実施時期 5月、7月、9月、11月

日本遺産への協力 通年

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として、当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

特に「上方花舞台」は、故司馬遼太郎氏の呼びかけで始まった上方伝統芸能の至芸を伝える企画で、今年で20回を迎え記念公演を実施する。

上方伝統行事については、記録映像をライブラリー化し協会ホームページで発信する。

ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

A. 「日本の文化に親しむ」の公演等

1) 上方の伝統芸能 第20回記念公演「上方花舞台」

実施時期 平成30年9月20日、21日

場 所 国立文楽劇場

2) 上方文化を味わう

3) 天神祭 船渡御に参加

B. 季刊雑誌「やそしま」の発行

C. 上方の文化、芸能の資料収集等

イ. 上方伝統行事への共催・協賛

A. 今宮戎神社宝恵駕行事[無形民俗文化財] (平成31年1月10日) 協賛

B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財] (平成30年6月14日) 共催